

新高 1

英語	英語	英語の文を読み書きする上で最も重要な「文型」「品詞」「句・節」を扱います。高校英語では1文あたりの単語量が増加し、構造も複雑になります。単語の意味をつなげた読み方ではなく、動詞に注目して文の骨組みである文型を把握し、修飾表現と修飾先に注目した読み方をする視点を養いましょう。
数学	数学	この春から新しく高校数学を始める方のための入門講座です。高校数学は数学Ⅰ、Ⅱ、ⅢとA、B、Cに分かれています。中でも数学Ⅰには以降の科目の基礎となる重要な単元ばかりが集められています。この春期講習で一足早く高校数学の学習をスタートさせ、余裕のある高校生活を送りましょう。

英検®対策

英語	英検®準1級対策講座	必須英単語の習得や英文読解、英作文の解説だけではなく、ネイティブ講師によるリスニング、2次面接の対策も行います。準1級は相当な対策を要しますが、英検2級所持の方は、本講座でぜひ準1級受験にチャレンジしてください。※ 60分×15回の映像講座です。形式や受講料等の詳細は、別紙にてご案内いたします。
	英検®2級対策講座	高校英語で学習する英単語や英文法の知識の習得・整理に加え、基礎的な英文読解や英作文の解説、ネイティブ講師によるリスニングや2次面接の対策も行います。英検2級取得を目指すことは共通テストの対策にもつながるので、本講座でぜひ2級にチャレンジしてください。※ 60分×15回の映像講座です。形式や受講料等の詳細は、別紙にてご案内いたします。

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

新高 2

英語	英語 T	東京大、京都大、大阪大などの最難関国公立大を志望する方を対象とする講座です。英文読解につながる発想法・文法理論を本質の理解にまで踏み込んで指導を行います。また、難易度の高い入試問題の解法の要点やその英文の背景にある知識まで、抽象度の高い英文を読み解く下地作りを行います。
	英語 H	神戸大、大阪公立大、同志社大などの難関大を志望する方を対象とする講座です。単語の意味を並べて日本語に直すという読み方ではなく、英文法の知識に基づいて、正しく英文の意味を捉える方法である構造分析を難易度が高い英文を用いて指導します。
	英語 S	大阪公立大、和歌山大、関関同立大、近畿大などを志望する方を対象とする講座です。単語の意味を並べて日本語に直すという読み方ではなく、英文法の知識に基づいて、正しく英文の意味を捉える方法である構造分析を指導します。
	必修英文法（応用編）	英文法の理解を深めたい方を対象とする講座です。構文理解から英作文まで対応できるように、「時制」「助動詞」「仮定法」にしづら演習と解説を行い、英文法の応用力を養います。基本事項の整理が行われていることを前提として指導を行いますので、事前に該当範囲の基本事項を復習した上で授業に臨んでください。
	必修英文法（基礎編）	英文法の復習を中心に行いたい方を対象とする講座です。文法問題に対応できるように、「時制」「助動詞」「仮定法」にしづら演習と解説を通して構文理解につながるように指導を行います。文法の基礎が固まっていない方や、春期講習から入会される方にもおすすめの講座です。
数学	数学「三角関数」T	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。単位円の弧の長さで角の大きさを表す弧度法を導入したあと、三角比からの自然な延長として三角関数を学びます。三角関数の本質である周期性、そして加法定理と合成に重点を置き、4日間でハイレベルな問題も扱い、この単元を習得します。
	数学「三角関数」H	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。単位円の弧の長さで角の大きさを表す弧度法を導入したあと、三角比からの自然な延長として三角関数を学びます。三角関数の本質である周期性、そして加法定理と合成に重点を置き、やや高度な事項まで含めこの単元を習得します。
	数学「三角関数」S	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。この単元は怒濤のように出てくる公式に面食らうがちですが、それに振り回されることなく、三角関数の本質である周期性をしっかりと押さえ、加法定理と合成に重点を置いたメリハリのある授業で基礎～標準レベルの内容を確実に習得します。
	数学「整数」（上級編）	「整数」は指導単元として教科書に載っていない頃から最難関大では頻出で、思考力を問う難問が出題されてきました。特に最難関レベルの大学を志望される方には、依然として重要な単元と言えるでしょう。この講座では、「整数」についての基本事項の整理や独特的な解法、実際の入試問題へのアプローチなどを講義します。
	数学「入試数学攻略法」（基礎編）	高校数学と出会い、1年が経ちました。全単元の制覇に向けては道半ばですが、学習した内容が大学入試の問題にどのように出題されるのか、そしてそれをどのように解決していくのか、高2になるこの時期に、当講座でぜひ一度触れてみてください。※数学ⅠAを学習済みであることが前提の講座です。
国語	現代文H	良質の評論文を題材として、現代文読解の基礎となる客観的な読解法の習得を目標とした講座です。どのように読めば筆者の主張を的確に把握できるのか、どのように考えれば正解を導くことができるのか、という正攻法の読解法を指導します。
	古文H	未見の文章を目の前にも自力で読むことができる力を身につけることを目標とした講座です。単語・文法を覚えただけでは読みません。これらの知識を【どのように使えば】本文内容を的確に把握できるのかを4日間の演習を通して理解することで、これから一年間の学習の指針を手に入れましょう。
理科	物理H	京都大、大阪大、神戸大などの難関大を志望する理系の方を対象に、この1年間で理系物理の内容をほぼ1周する講座です。春期講習では、力学の「運動方程式」までを扱います。この1年で標準的な入試物理の考え方をマスターし、高3ではさらに発展的な学習に進むことで、難関大入試に向けて十分な力を養います。物理を得意科目にしたい人はぜひ受講してください。
	化学H	理系学部志望の方にとって化学は不可避です。本講座では2年後の現役合格に向け、得点力の向上に主眼を置き、高2の1年間で理系化学の内容をほぼ1周します。得点力を強化するためには論理的な思考法、正確な知識、そしてそれを表現する能力の3つが必要です。これらを高める練習をしていきましょう。春期講習では原子の構造や化学結合などを扱います。

※講座の内容は変更となる場合があります。

新高 3

英語	英語 T	東京大、京都大、大阪大などの最難関国公立大を志望する方を対象とする講座です。難易度の高い長文問題を解きながら、英文の構造分析法、マクロ的な読解法、その英文の背景にある知識や英語的な発想法まで指導します。難関大で出題される抽象度の高い英文を読破できる実戦的な学力を育成します。
	英語 H (読解編)	難関国公立大学や難関私立大学を志望する生徒が対象です。この春期講習を以後の受験勉強のスタートと位置づけ、英文読解で重要な英文構造の把握力の土台作りをします。英文の文型や句と節の働きを正確に捉え、ハイレベルな英文でも、一文一文であれば自らの力で正確に意味が捉えられることを目指します。
	英語 S (読解編)	国公立大学や私立大学を目指す生徒を対象に、英語の基礎力を強化するための講座です。春期講習から本格的に受験勉強をスタートさせ、まずは英文構造を正確に把握するための基礎を学びます。英文の文型や句と節の働きを理解し、一文一文の意味を正確に捉えるために必要な知識と考え方を学びます。S 1 と S 2 の 2 クラスがあり、レベルは S 1 > S 2 です。
	英語 (英文法編)	英文法知識を復習しながら、択一問題、正誤問題、整序問題などの問題形式に応じた解き方を指導します。私立大で出題される文法問題はもちろん、読解・作文が中心の国公立大入試にも活かすことができるよう、主要文法の基礎を確立します。S 1 と S 2 の 2 クラスがあり、レベルは S 1 > S 2 です。
数学	数学 I A II B C - T	京都大、大阪大などの最難関レベルの 2 次試験対策を目的とした、数学 I A II B (ベクトル) のハイレベル講座です。これらの大学で頻出分野となっている項目について、単なる解法の説明に終始せず、最難関大のレベルで必要となる数学的な発想方法に力点を置いて講義します。
	数学 I A II B C - H	難関大志望で、文系・理系を問わず記述式の数学を必要とする方を対象とした講座です。春期は数学 B 「数列」、数学 C 「ベクトル」を扱います。入試標準レベルで最も頻出となっている問題の解法を中心に解説し、自習問題を通じてそれらを自在に操れる実戦力を養います。
	数学 I A II B C - S	文系・理系を問わず、これから入試数学の基礎を固めていきたい方を対象にした講座で、数学 B 「数列」、数学 C 「ベクトル」を扱います。単元の公式などを忘れてしまったという方も無理なくついていくよう、基本事項の確認から始め、最終的に入試基本レベルの典型問題が確実に解けるようになることを目標に講義します。
	数学 III C - T	数学 C 「複素数平面」を講義します。複素数を平面上の点に対応させることにより、幾何的な問題を計算で考察することができます。この複素数平面について、共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本問題から扱い、ハイレベルな入試問題に対応する力をつけます。
	数学 III C - H	数学 C 「複素数平面」を基本から講義します。複素数を平面上の点に対応させることにより、幾何的な問題を計算で考察することができます。この複素数平面について、共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本問題から扱い、頻出問題に対応する力をつけます。
	数学 III C 速習 S	この春期講習から数学 III C の内容をスタートし、夏までに主要単元を網羅、以降は難関大の入試問題に対応する力をつける演習を行なう講座です。春は「複素数平面」を扱います。共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本事項をしっかりと理解できるように講義します。
	数学 I A - S	数学 I A のみが出題範囲となる看護医療系等を志望される方を対象とする講座です。公募推薦や共通テスト、一般入試に向けて、数学 I A 内容の講義と反復練習を、一人ひとりの定着度を確認しながら丁寧に行ないます。この春期講習からスタートし、冬期講習まで開講予定です。継続して受けさせていただくことで、現在数学が苦手な方でも効率的に得点力を増強することが可能です。

国語	現代文 T/H	この講座は、様々な大学の入試問題を通じて、入試現代文で要求される「読解力」と「解答への着眼点」の学習を主な目標とする講座です。いかなる文章であっても客観的に文章のポイントを把握する読解法と、様々な設問に対する論理的なアプローチの仕方を学び、春以降の学習の指針を立てていきましょう。
	現代文 S	「現代文が苦手」「現代文の点数が安定しない」「現代文をどう勉強すれば良いのかがわからない」などの悩みを抱えている方を対象とした読解入門講座です。「読む」「解く」のどちらにも「正しい方法」があります。本講座で正攻法の読解を学び、これから受験勉強の指針を手に入れましょう。
	共通テスト現代文	この講座は、共通テスト・センター試験の過去問を通して、どんな文章・設問にも通用する普遍的な「読解法」「解答法」を習得し、共通テストでの高得点を目指す人のためのスタート講座です。「共通テストの対策を0から始める人」はもちろん、「いつも2択で迷ってしまう人」「あと一問正解したい人」にとってもおすすめの講座です。
	古文 T/H	この春期講習からスタートする、国公立大2次試験において古文の記述が必要となる方対象の講座です。記述で点数を確実に稼ぐためには、何となく覚えてきている文法や単語を正しく使い切る必要があります。読解法の基本を確認し、知識をどこまで使い切る必要があるのかを4日間を通して理解しましょう。
	古文 S	この春期講習からスタートする、関関同立大をはじめとする私立大入試において古文が必要な方対象の講座です。語彙や文法の復習だけでなく、多くの受験生が苦手としている人物判定の基本もマスターします。知識を正しく使うことを覚えれば、「読む」ことも「解く」こともできることを実感しましょう。
	共通テスト古文・漢文	この春期講習からスタートする、共通テストの古文・漢文対策の講座です。なんとなく問題文を読み、なんとなく答えを出し、成績の波が激しかったという人は、これからも同じような結果しか得られない可能性があります。本講座では成績の安定・向上に直結する読解法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めします。
理科	古典文法復習講座 A/B/C	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。「ポイント講義→演習→解説」の形式で基礎事項の理解を深め、文法問題や短文現代語訳問題を解く力を養うだけでなく、読解に使える文法力の習得を目指します。※各100分×4回の映像講座で、【A：用言・助動詞】【B：助詞・敬語】【C：識別・和歌の修辞法】の3講座があります。
	物理 T/H	春期講習から始まる、共通テスト・2次入試に対応する実践力を鍛える講座です。この講習では力学を題材に、与えられた条件を数理的に表現する力、また結果から現象を読み解く力を磨きます。京都大・大阪大などの最難関大を志望する方はTクラス、神戸大や大阪公立大、関関同立大などの難関大を志望する方はHクラスをお勧めします。
地歴 公民	化学 T/H	本講座ではこの春からの1年間で理系化学の入試対策を行います。春期講習では理論化学の演習を中心に行います。この春が本講座のスタートになりますので、ぜひ受講してください。東京大や京都大、大阪大などの最難関大を志望する方にはTクラス、神戸大や大阪公立大、関関同立大などの難関大を志望する方にはHクラスをお勧めします。
	日本史	【単元：室町時代】鎌倉幕府がなぜ衰え、滅亡に至ったのか。南北朝動乱期の中で成立した室町幕府は、鎌倉幕府とのどのような共通点・相違点があるのか。民衆の成長に伴って社会はどのような変化を遂げたのか。など、さまざまな角度から講義します。複雑になってくる中世史だからこそ、因果関係を意識して理解していきましょう。
	日本史：文化史特講 A	文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・对外関係など通史の流れをしっかりと関連付けて文化史を「理解」して、武器にしましょう。【A：古代（古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞觀、国風、院政期文化）】※100分×4回の映像講座です。
	世界史	皆さんの苦手な正誤問題。例えば、「スペインの無敵艦隊は北イタリア諸都市の海軍に敗れた」などです。こういう問題は、関連事項を知らなければ解けません。正解を導くためには物語を知っておく必要があります。この講習では過去問の演習を通じて、この物語がいかに重要かを認識していただきます。
	入試政治経済	公民科目は暗記ではなく理解する科目です。そのような制度が必要となった理由・歴史的背景が必ずあります。その背景を理解することで飛躍的に点数が上がります。本講座では、暗記すべきところは暗記する、理解すべきところは理解する、これを明確に分けて講義しています。公民を得点源にできるよう、復習を徹底してください。※120分×4回の映像講座です。